

いぐさ機械移植における生産安定のための先刈方法

農業研究センター い業研究所 栽培部

研究のねらい

機械移植いぐさは、苗の損傷等により初期生育が遅れるため、慣行手植と同様の先刈方法（収穫 65 日前・45cm の高さ）では、先刈以降の後期生育が不十分で減収程度が大きくなる。

そこで品質面を加味しながら、機械移植栽培に適した先刈時期及び先刈高さを検討した。

研究の成果

- 1 先刈をしなかったり、慣行手植より早い時期の先刈（収穫 65 ~ 75 日前）及び慣行手植より高い先刈（45 ~ 55cm）の場合は、慣行手植の先刈より増収となる。
- 2 先刈をしなかったり、慣行手植より早い時期の先刈及び慣行手植より高い先刈では、者花数、枯死茎数が増加し、品質が低下する。
- 3 慣行手植の先刈と同等の品質を維持しながら、安定した収量を得る先刈方法は、収穫 65 日前・55cm の高さが望ましい。

普及上の留意点

- 1 いぐさの生育程度が収穫 77 日前で茎長 50 ~ 70cm、茎数 80 ~ 100 本に近いいぐさ田での技術資料として活用する。
- 2 慣行手植より遅い時期の先刈及び慣行手植より低い先刈では、減収程度が大きく、特に、慣行手植より遅い時期の先刈は、慣行手植より高く先刈しても減収するので注意する。

表1 先刈時期及び高さとの収量

収穫前 (日)	高さ (cm)	60cm以上乾茎重標準比(%)			105cm以上乾茎重標準比(%)		
		5年産	6年産	7年産	5年産	6年産	7年産
7 5日	35cm	100	103	103	108	137	95
	45cm	108	98	107	122	102	107
6 5日	35cm	95	84	85	98	72	77
	45cm	100 (111.8)	100 (96.1)	100 (112.3)	100 (51.3)	100 (25.7)	100 (65.9)
	55cm	103	94	110	104	118	118
5 5日	45cm	91	81	74	89	90	77
	55cm	100	85	84	99	86	87
無先刈		106	116	115	119	167	114

()内は標準区の収量(kg/a)

表2 先刈時期及び高さとの収量

収穫前 (日)	高さ (cm)	105cm以上 着花数	60cm以上枯死茎数(本/株)			105～120cm以上 先枯歩合(%)	
		7年産	5年産	6年産	7年産	5年産	6年産
7 5日	35cm	15.0	14.3	3.5	3.1	26	25
	45cm	18.0	15.3	4.8	4.2	29	36
6 5日	35cm	4.0	9.1	1.7	0.1	22	43
	45cm	4.5	11.1	3.6	1.2	22	31
	55cm	7.0	15.2	5.3	5.5	26	28
5 5日	45cm	1.5	3.9	1.6	0.6	15	33
	55cm	3.5	10.2	2.9	3.9	18	25
無先刈		41.5	14.4	13.6	22.2	21	28

着花数は5, 6年産では顕著な差は無し。